

証券コード 6379

レイズネクスト株式会社 決算説明会資料

2023年3月期

レイズネクスト株式会社

目次

| | | | | | |
|-----------------|-----|----|------------------|-----|----|
| 1. 2023年3月期決算 | ・・・ | 3 | 2. 2024年3月期業績見通し | ・・・ | 12 |
| 1) 事業環境 | ・・・ | 4 | 1) 事業環境 | ・・・ | 13 |
| 2) 業績概要 | ・・・ | 5 | 2) 業績見通し | ・・・ | 14 |
| 3) 受注高 | ・・・ | 6 | 3) 受注高および完成工事高 | ・・・ | 15 |
| 4) 完成工事高 | ・・・ | 7 | 3. 配当 | ・・・ | 16 |
| 5) 完成工事総利益・営業利益 | ・・・ | 8 | 1) 2023年3月期配当予定 | | |
| 6) 当期純利益 | ・・・ | 9 | および2024年3月期配当予想 | ・・・ | 17 |
| 7) 受注残高 | ・・・ | 10 | 4. 第2次中期経営計画 | | |
| 8) 貸借対照表 | ・・・ | 11 | (2022年度進捗について) | ・・・ | 18 |

1. 2023年3月期決算

1) 事業環境

国内経済

- 物価上昇の影響があるが、ウィズコロナの下での各種政策の効果もあり、景気は緩やかに持ち直し
- 海外景気の下振れによる国内景気の下押し、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等のリスクが懸念される状況が継続

事業環境

- 石油業界では、国内需要の低下により、製品需要は減少傾向が継続
- 石油化学や一般化学業界では、自動車生産量の低下や産業用途の製品需要の低迷などを背景に需要回復には至らず
- 工事施工にかかわる一部資材は、価格の高止まりはあるものの、資材調達に大きな問題は発生していない



当社の対応

- メンテナンス分野では、日常保全やタンク改修などの工事の拡大に努めた
- エンジニアリング分野では、一般化学や電子材料などの高機能製品製造プラントやカーボンニュートラル関連工事の拡大に努めた

2) 業績概要

➤ 受注高はほぼ期初予想どおり、完成工事高および各利益は期初予想を上回る

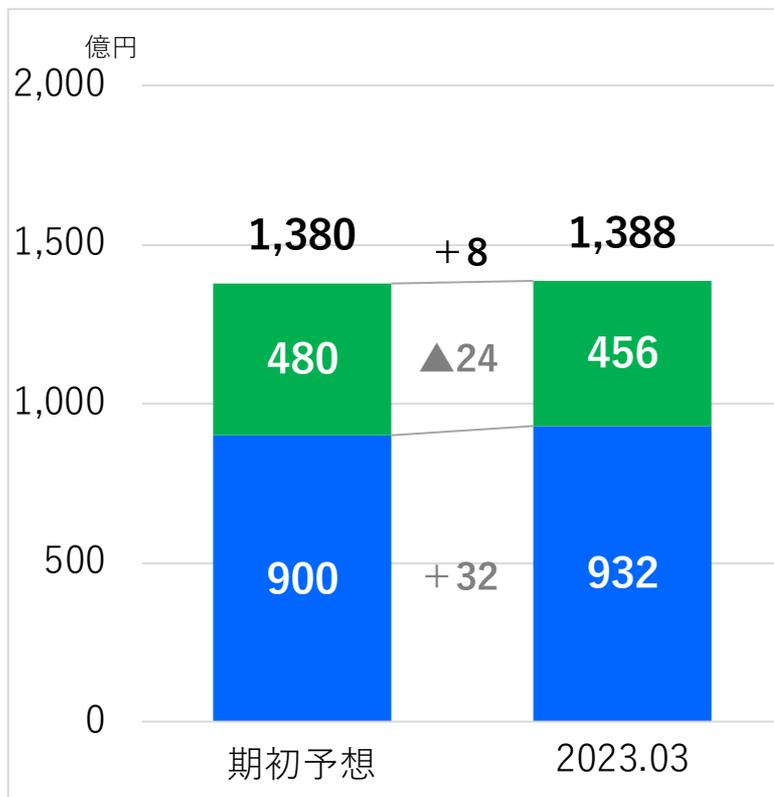
(参考) (単位：億円)

| | 期初予想 | 2023.03 | 増減 | 増減率 | 前期 (2022.03) との差異 | | |
|----------------|-------|--------------|-------|--------|-------------------|-------|-------|
| | | | | | 前期比 | 増減率 | |
| 受注高 | 1,380 | 1,388 | +8 | +0.6% | 1,412 | -24 | -1.7% |
| 完成工事高 | 1,360 | 1,400 | +40 | +2.9% | 1,298 | +102 | +7.9% |
| 完成工事総利益 | 164.0 | 180.5 | +16.5 | +10.1% | 177.4 | +3.1 | +1.7% |
| (率) | 12.1% | 12.9% | +0.8% | — | 13.7% | -0.8% | — |
| 販管費 | 70.0 | 71.3 | +1.3 | +1.9% | 67.6 | +3.7 | +5.5% |
| 営業利益 | 94.0 | 109.1 | +15.1 | +16.1% | 109.8 | -0.7 | -0.6% |
| (率) | 6.9% | 7.8% | +0.9% | — | 8.5% | -0.7% | — |
| 経常利益 | 96.0 | 112.4 | +16.4 | +17.1% | 112.7 | -0.3 | -0.3% |
| (率) | 7.1% | 8.0% | +0.9% | — | 8.7% | -0.7% | — |
| 親会社株主に帰属する当期純利 | 63.0 | 77.4 | +14.4 | +22.9% | 77.4 | +0.0 | +0.0% |
| (率) | 4.6% | 5.5% | +0.9% | — | 6.0% | -0.5% | — |

3) 受注高

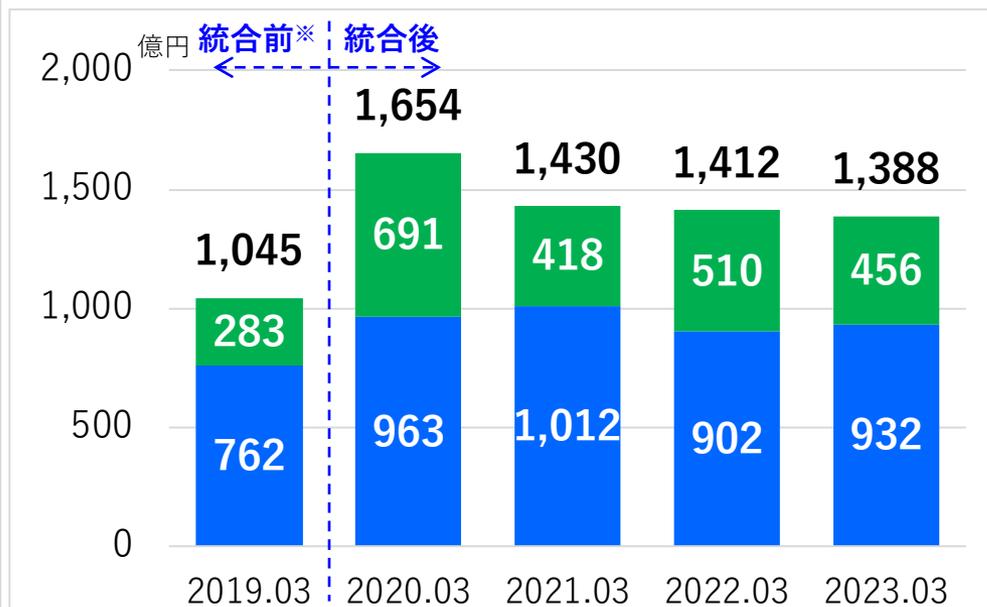
- メンテナンスでは、定期修理工事での追加工事の増加などにより期初予想を上回る
- エンジニアリングでは、失注や案件の中止などにより期初予想を下回る

期初予想対比



5カ年推移

- メンテナンスは定期修理工事の周期により変動
- エンジニアリングは概ね4~500億円で安定的に推移
- 受注高全体は、お互い補完し合いほぼ横ばい



■ メンテナンス ■ エンジニアリング

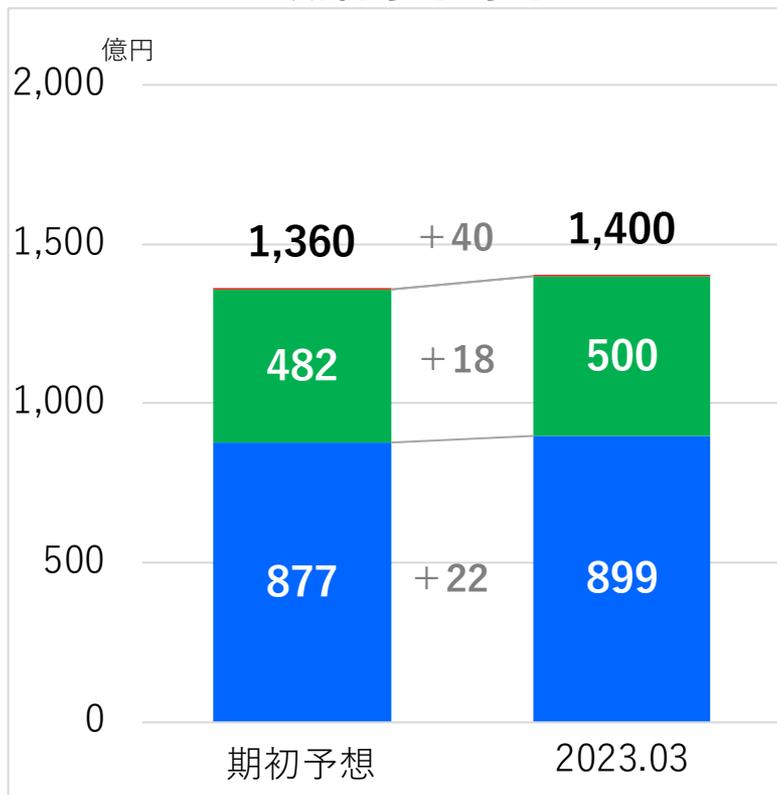
特記事項

- ①統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。
- ②2020年3月期の受注高は、旧JXエンジニアリングの2019年6月末の受注残高をレイズネクストの受注高として7月1日に受け入れたものを含む。

4) 完成工事高

- メンテナンスでは、定期修理工事での追加工事増加などにより期初予想を上回る
- エンジニアリングでは、改造工事での工事量増加や大型工事の進捗が想定より早まったことなどにより期初予想を上回る

期初予想対比



5カ年推移

- メンテナンスは定期修理工事の周期により変動
- エンジニアリングは受注と同様に安定的に推移
- 完成工事高全体はメンテナンスと同様の傾向



■ メンテナンス ■ エンジニアリング

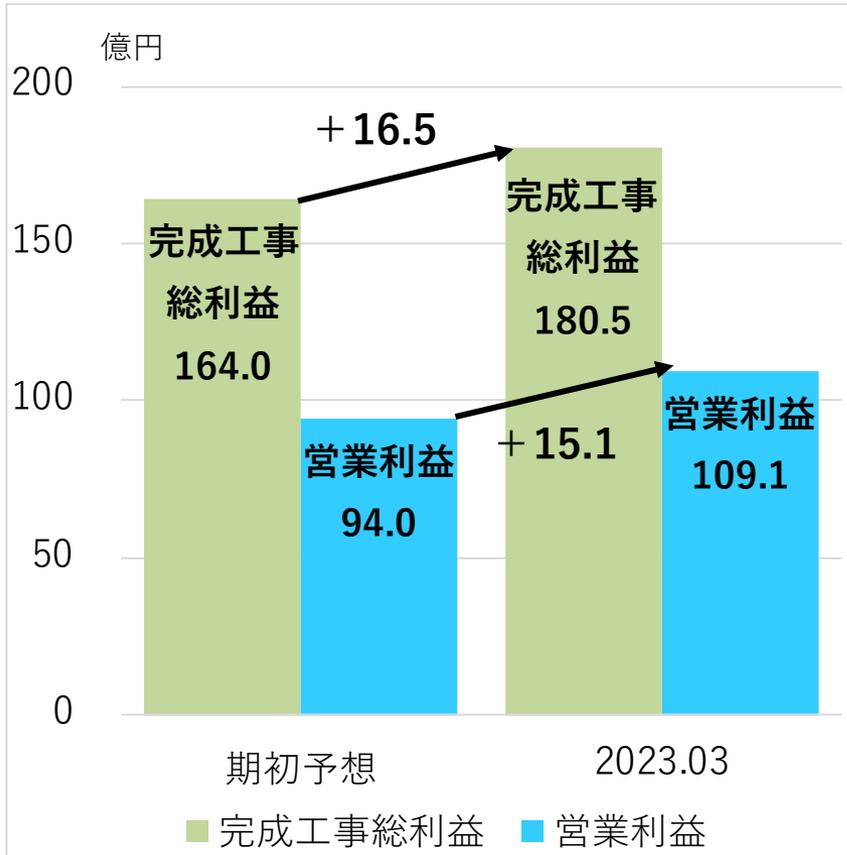
特記事項

①統合前は、旧新興プラントック(連結)のみの数値である。

5) 完成工事総利益・営業利益

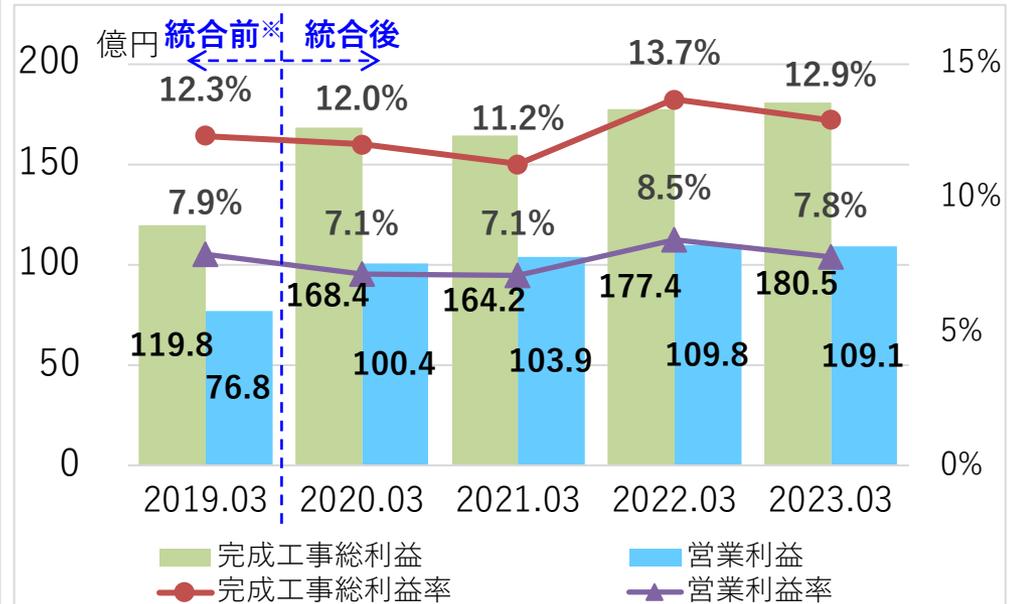
- 完成工事高が期初予想を上回ったことに加え、稼働の効率化などに努めた結果、完成工事総利益・営業利益が予想を上回る

期初予想対比



5カ年推移

- 完成工事総利益率は概ね12%以上を確保
- 営業利益率は7%以上を安定的に確保



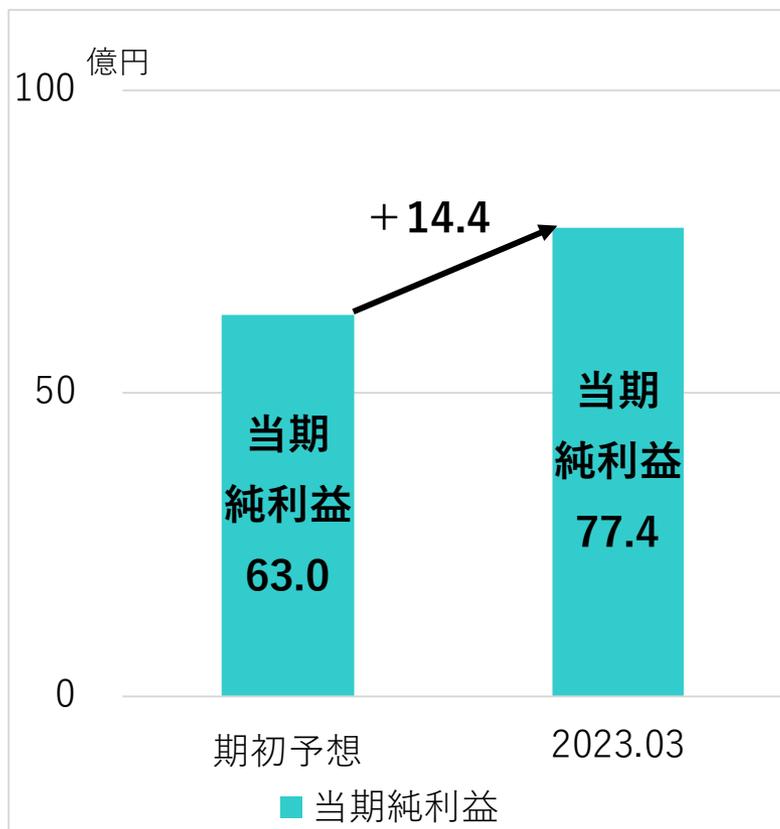
特記事項

①統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

6) 当期純利益

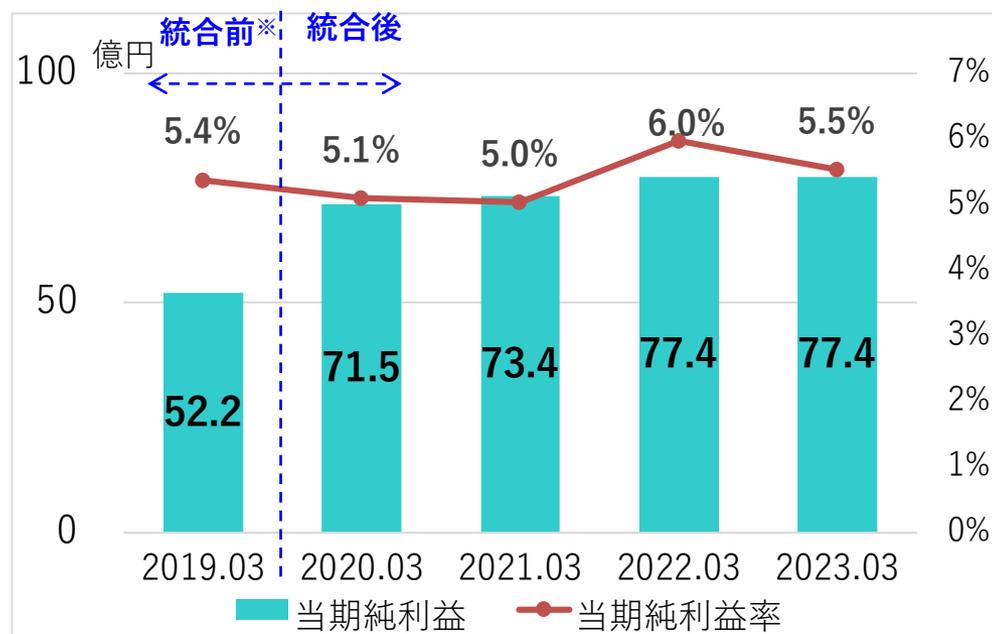
➤ 完成工事総利益の増加により、当期純利益は予想を上回る

期初予想対比



5カ年推移

➤ 当期純利益率は5%以上を安定的に確保

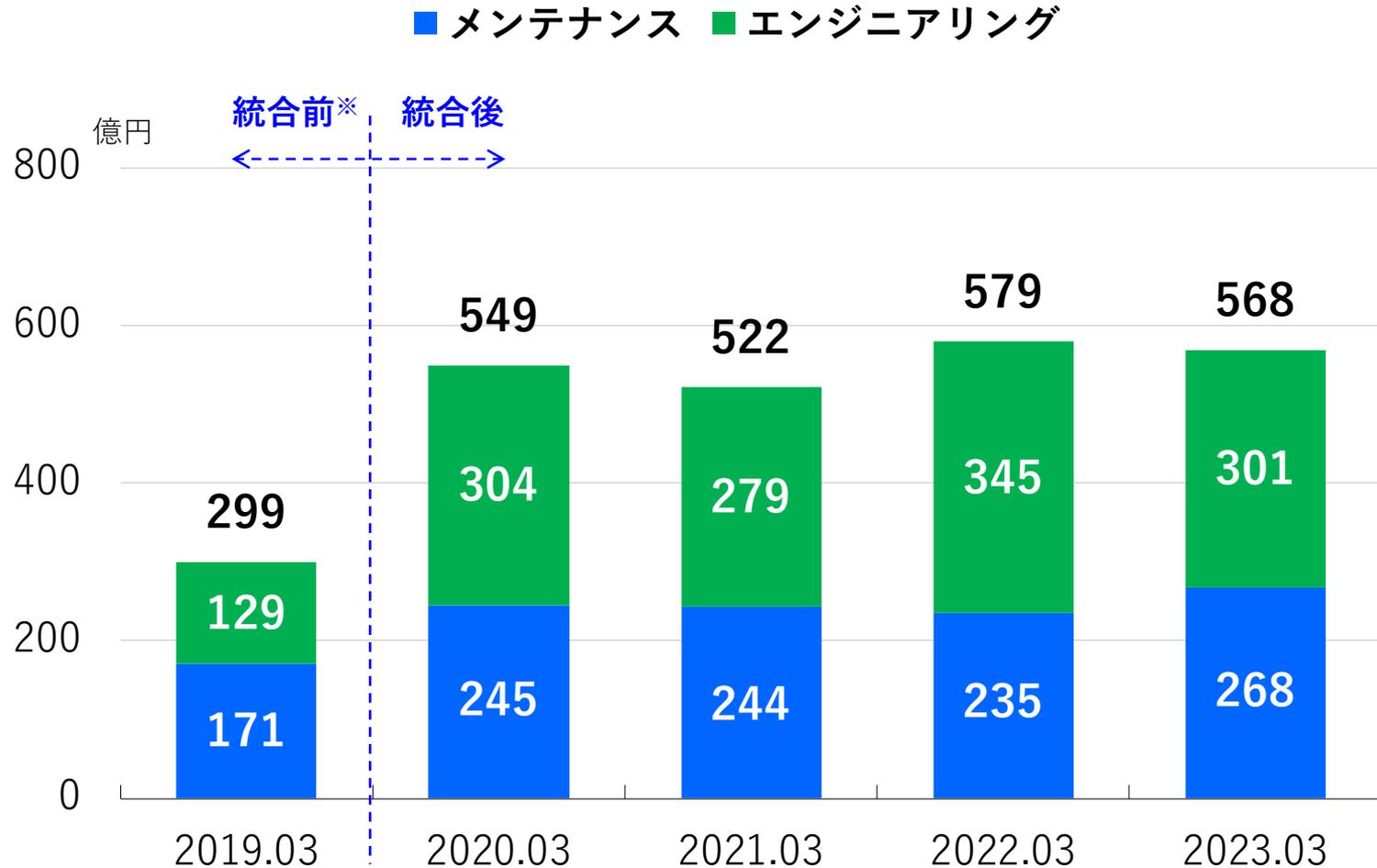


特記事項

- ①統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。
- ②上図のグラフの2020.03の数値は負ののれん発生益(55億円)を除いた当期純利益である。

7) 受注残高

➤ メンテナンスは前期比で増加、エンジニアリングは前期比で減少

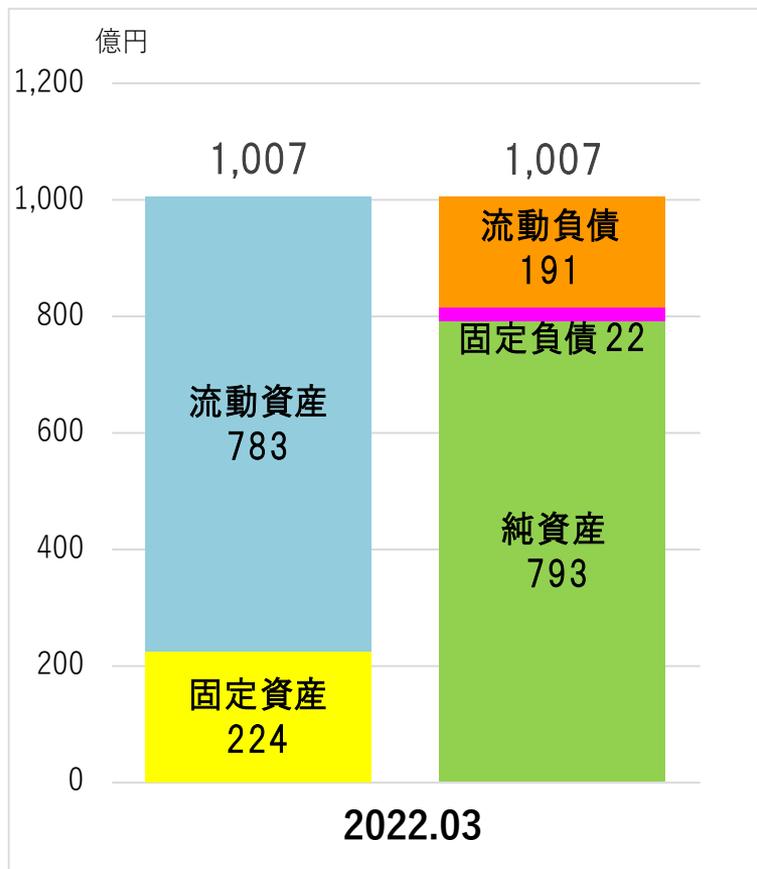


特記事項

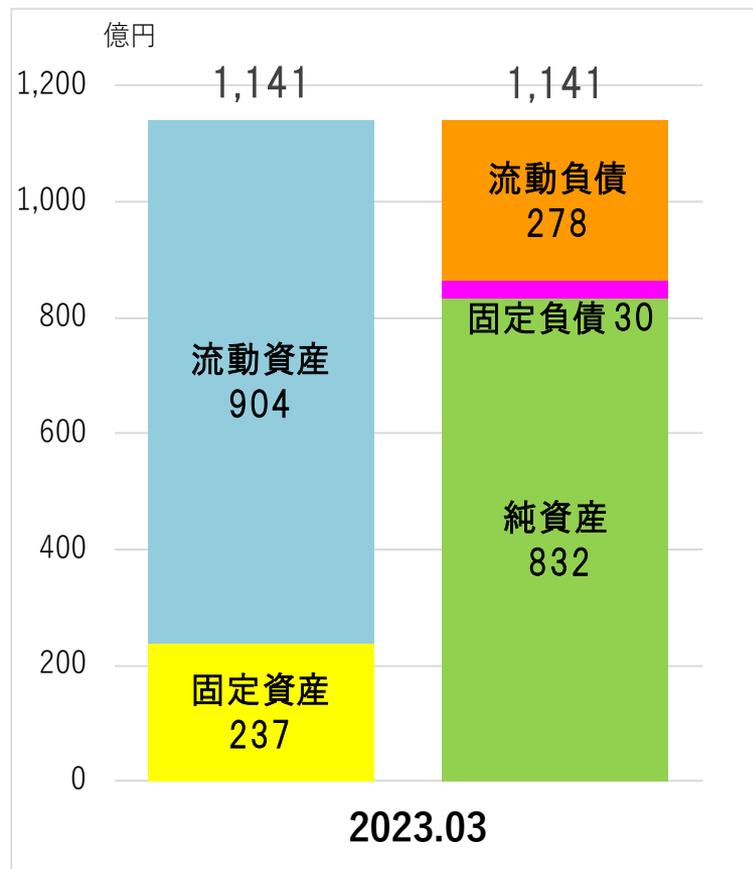
①統合前は、旧新興プランテック(連結)のみの数値である。

8) 貸借対照表

- 資産の部 . . . 流動資産で完成工事未収入金等が増加
- 負債の部 . . . 流動負債で工事未払金が増加
- 純資産の部 . . . 当期純利益分が増加
- 自己資本比率は72.2%、ROE（自己資本当期純利益率）は9.6%



自己資本比率：78.0%
ROE：10.2%



自己資本比率：72.2%
ROE：9.6%

2. 2024年3月期業績見通し

1) 事業環境

国内経済

- ウィズコロナの下で社会経済活動の正常化が進み、景気の持ち直しが期待
- 消費者物価上昇の動向、ウクライナ情勢による原材料価格や供給面への影響などにより、引き続き不透明な状況の継続を懸念

事業環境

- 石油業界では、国内需要の低下により、製品需要は減少傾向が継続するものの、閉鎖製油所や遊休地の有効活用に向けた基盤整備工事の需要が新たに発生
- 一般化学業界では、半導体製造にかかわる高機能製品製造プラントの需要が継続
- 非鉄金属業界では、電気自動車や再生可能エネルギーの普及を背景にした銅の需要増加により、プラント新增設などの建設工事が増加



当社の対応

- メンテナンスとエンジニアリングを両輪とする当社の強みを活かし、既存顧客のエリア拡大や、新規顧客の獲得に注力
- 閉鎖製油所等の基盤整備工事に積極的に対応
- 一般化学・電子材料などの高機能製品製造プラント、カーボンニュートラル関連工事の受注に注力

2) 業績見通し

- 受注高、完成工事高および完成工事総利益は、前期実績と同水準
- 営業利益、経常利益および当期純利益は、DX推進などによる販管費の増加により、前期実績に対し減少

(単位：億円)

| | 中 間 期 | | | | 通 期 | | | |
|-----------------|---------------|---------------|-------|--------|---------------|---------------|-------|-------|
| | 2022.09 実績 | 2023.09 予想 | 増減 | 増減率 | 2023.03 実績 | 2024.03 予想 | 増減 | 増減率 |
| 受 注 高 | 675 | 730 | +55 | +8.1% | 1,388 | 1,410 | +22 | +1.6% |
| 完 成 工 事 高 | 687 | 765 | +78 | +11.4% | 1,400 | 1,410 | +10 | +0.7% |
| 完成工事総利益 | 90.5 | 102.0 | +11.5 | +12.7% | 180.5 | 181.0 | +0.5 | +0.3% |
| (率) | 13.2% | 13.3% | +0.1% | - | 12.9% | 12.8% | -0.1% | - |
| 販 管 費 | 35.5 | 39.0 | +3.4 | +9.6% | 71.3 | 78.0 | +6.6 | +9.3% |
| (率) | 5.2% | 5.1% | -0.1% | - | 5.1% | 5.5% | +0.4% | - |
| 営 業 利 益 | 54.9 | 63.0 | +8.1 | +14.8% | 109.1 | 103.0 | -6.1 | -5.6% |
| (率) | 8.0% | 8.2% | +0.2% | - | 7.8% | 7.3% | -0.5% | - |
| 経 常 利 益 | 57.2 | 64.0 | +6.8 | +11.9% | 112.4 | 106.0 | -6.4 | -5.7% |
| (率) | 8.3% | 8.4% | +0.1% | - | 8.0% | 7.5% | -0.5% | - |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 39.6 | 43.0 | +3.4 | +8.6% | 77.4 | 71.0 | -6.4 | -8.3% |
| (率) | 5.8% | 5.6% | -0.2% | - | 5.5% | 5.0% | -0.5% | - |

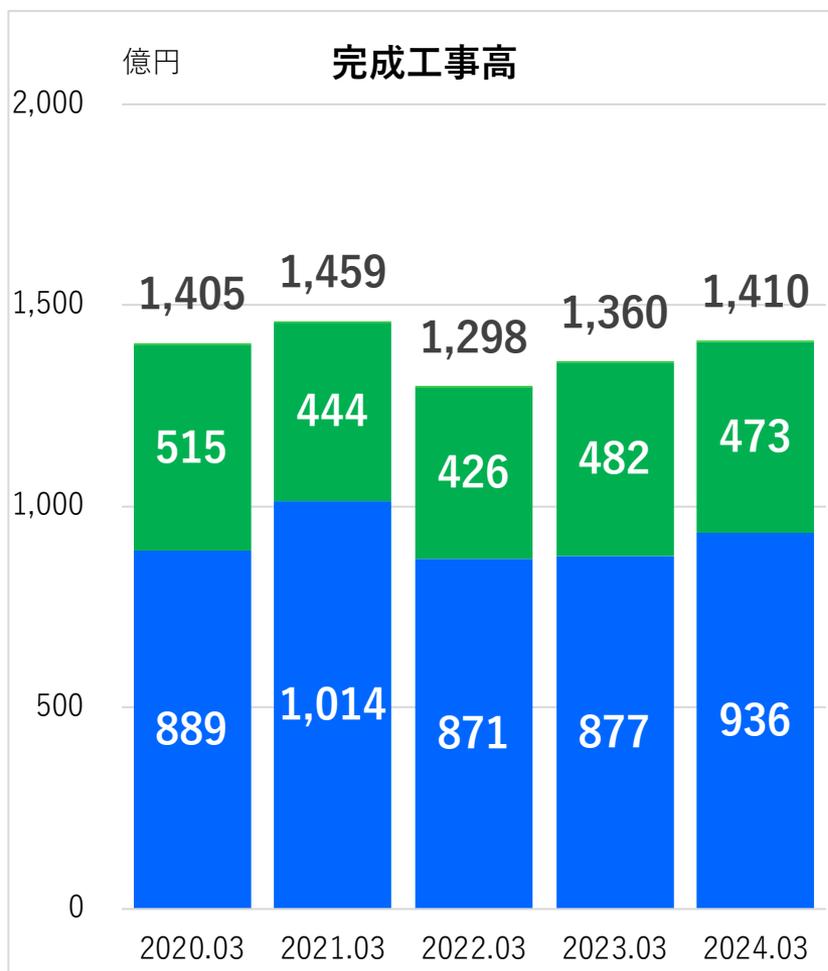
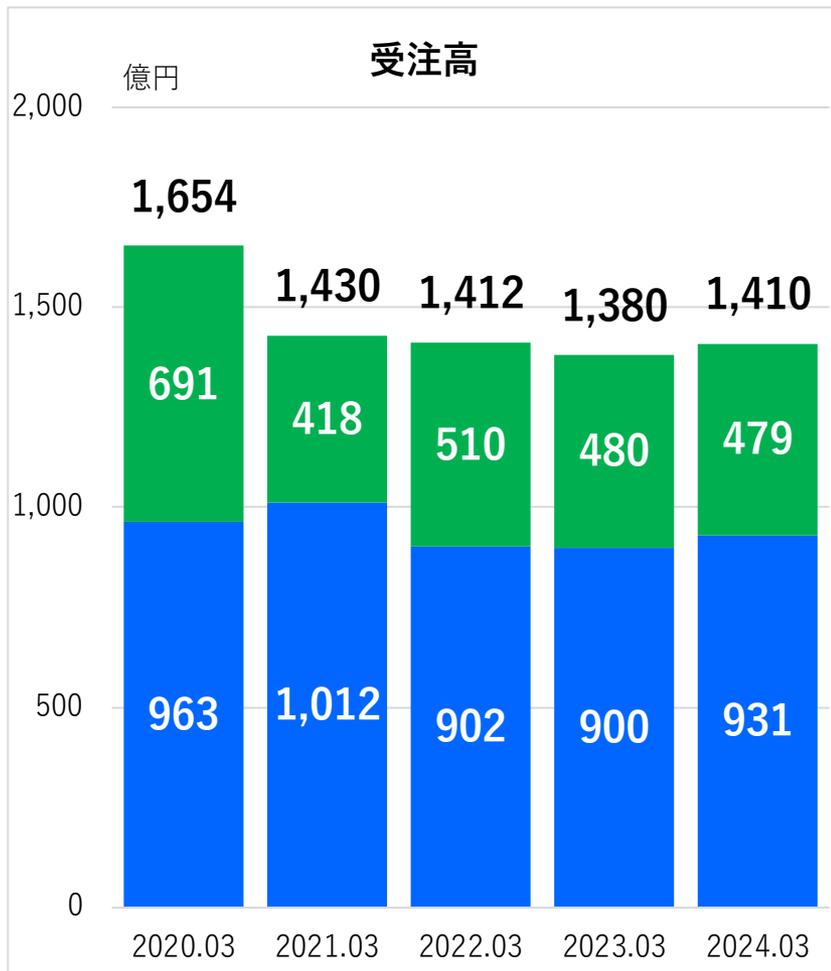
| | | | | | | | | |
|----------------|--------|---------------|--------|-------|---------|----------------|---------|-------|
| 1株当たり当期(中間)純利益 | 73.26円 | 79.39円 | +6.13円 | +8.4% | 142.92円 | 131.09円 | -11.83円 | -8.3% |
|----------------|--------|---------------|--------|-------|---------|----------------|---------|-------|

| | | | | | | | | |
|---------|-----|------------|-----|-------|-----|------------|----|-------|
| 受 注 残 高 | 568 | 534 | -34 | -6.0% | 568 | 569 | +1 | +0.2% |
|---------|-----|------------|-----|-------|-----|------------|----|-------|

3) 受注高および完成工事高

- 受注高は、メンテナンスは前期より増加の予想、エンジニアリングは前期と同水準
- 完成工事高は、メンテナンスは前期より増加の予想、エンジニアリングは前期と同水準

■ メンテナンス ■ エンジニアリング



注) 2024.03の数値は予想値となっております。

3. 配当

1) 2023年3月期配当予定および2024年3月期配当予想

2023年3月期配当予定

● 期末配当 72円 (連結配当性向 50.4%)

✓ 期初開示 58円より14円の増配

2024年3月期配当予想

● 年間配当 65円 (連結配当性向 49.6%)

✓ 中間配当を実施 (中間配当30円、期末配当35円の予定)

✓ 2023年3月期の期初予想の連結配当性向 (49.9%) と同水準

第2次中期経営計画 (2022年度進捗について)

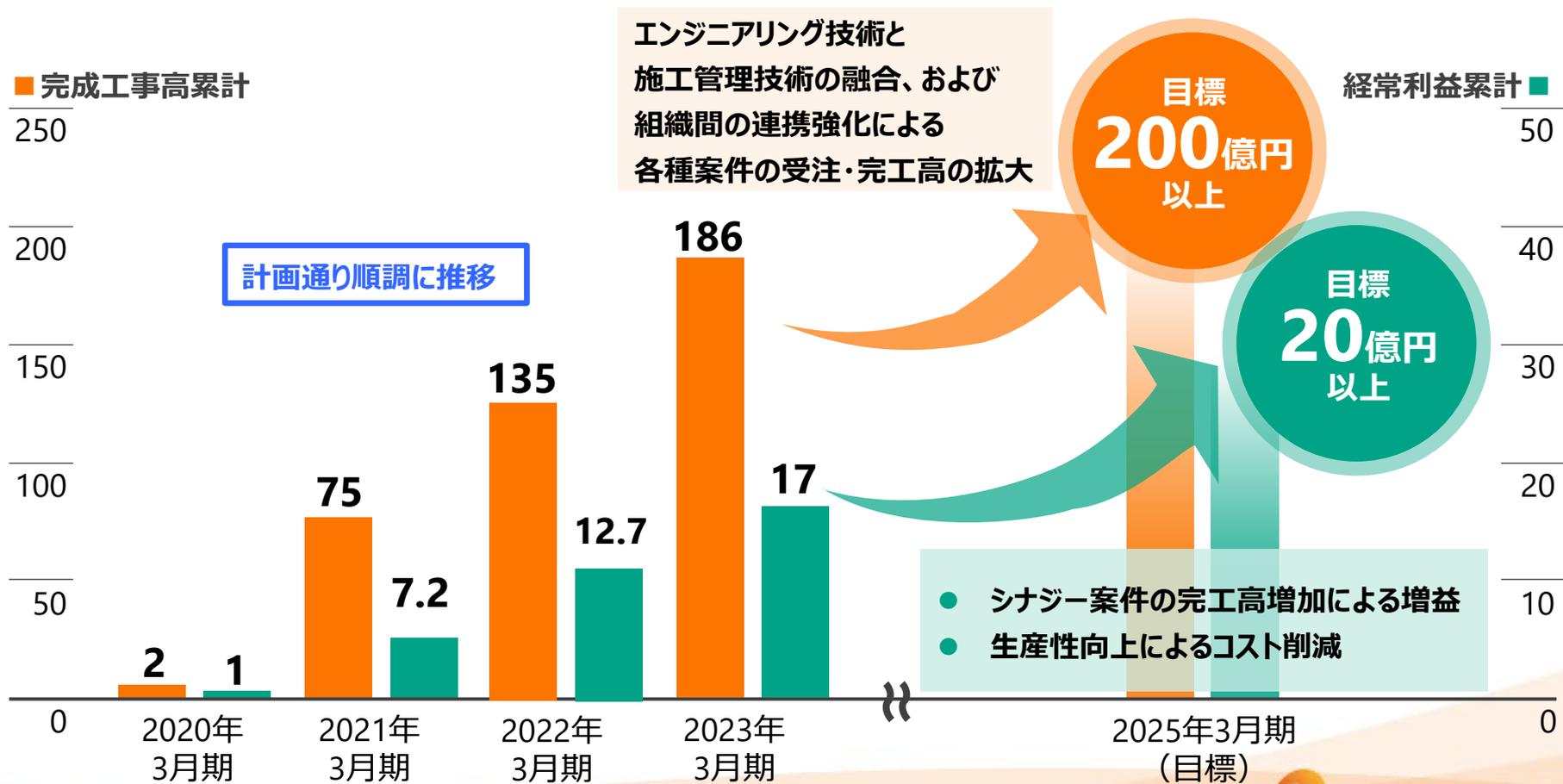
経営数値目標

第2次中期経営計画の最終年度目標と2022年度実績

| (連結) | 項目 | 2022年度 (2023年3月期) | 2024年度 (2025年3月期) |
|--------------|-----------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 業績目標 | 完成工事高 | 1,400 億円 | 1,450 億円 |
| | 営業利益 (利益率) | 109 億円 (7.8%) | 105 億円 (7.2%) |
| | 親会社株主に帰属する当期純利益 (利益率) | 77 億円 (5.5%) | 70 億円 (4.8%) |
| 経営指標 の目標値 | 自己資本当期純利益率 (ROE) | 9.6% | 8% 以上 |
| | 連結配当性向 | 50.4% | 40% 以上 |

シナジー効果（実績と目標）

第1次・第2次中期経営計画期間に累計額で「完成工事高**200**億円以上」
「経常利益**20**億円以上」のシナジー効果創出をめざす



経営基盤の強化と各事業戦略



メンテナンス事業の強化

- 全社生産計画システムの効果的運用
- 協力会社ネットワークの強化と動員力維持



エンジニアリング事業の強化

- 事業遂行体制と技術力のさらなる強化
- 再生可能エネルギー等の新規分野における受注拡大



タンク事業の強化

- 全社的運営体制のさらなる強化と協力会社の体制強化
- 水素貯蔵タンクの設計・施工技術の調査・検討

- 受注・収益の拡大
- 技術力の強化



経営基盤の強化

- グループ全体のガバナンス体制強化
- 時間外労働上限規制・新しい働き方への対応
- 人材の確保と育成
- CSR活動およびSDGsを含めたESG経営
- DXの推進
- シナジー効果の創出

経営基盤の強化と各事業戦略の進捗



メンテナンス事業の強化

- 全社生産計画システムの効果的運用
- 協力会社ネットワークの強化と動員力維持
- 受注・収益の拡大
- 技術力の強化



- 全体最適を目的としたメンテナンス組織の立ち上げ（第1～第3事業部→メンテナンス事業部）
- 顧客および協力会社との適切な単価設定
- 石油元売会社／化学メーカーにおける定修工事の新規エリア参入に向け積極的に応札
- 日常保全工事／定期修理工事の新規エリア参入達成
- 各種技術開発（熱交換器自動洗浄設備、無火気配管切断、各種メンテナンス業務のDX化）

経営基盤の強化と各事業戦略の進捗



エンジニアリング事業の強化

- 事業遂行体制と技術力のさらなる強化
- 再生可能エネルギー等の新規分野における受注拡大
- 受注・収益の拡大
- 技術力の強化



- 再生可能エネルギー分野の受注
 - 新規メガソーラー発電所の継続工事受注
(累計：約258MW 施工中：約30MW)
 - グリーンアンモニア製造プラントの建設工事受注
- 閉鎖製油所の将来に向けた基盤整備工事
(無害化工事/設備撤去工事) の受注
 - 今後も将来計画への積極的参画
- 非鉄金属分野での新設・改造工事の受注強化
 - 圧延銅箔設備工場のライン増設および建屋工事受注

経営基盤の強化と各事業戦略の進捗



タンク事業の強化

- 全社的運営体制のさらなる強化と協力会社の体制強化
- 水素貯蔵タンクの設計・施工技術の調査・検討
- 受注・収益の拡大
- 技術力の強化



- タンク生産管理システムを改善し、事業遂行体制を強化
→タンク技術者のリソースを社内で共有し、稼働率の向上による受注高・収益の向上
- 水素／アンモニア貯蔵タンクの技術・需要・環境等の調査・情報収集を実施
- 未参入の石油備蓄会社、石油精製会社のタンク工事を新規受注

経営基盤の強化と各事業戦略の進捗



経営基盤の強化

- グループ全体のガバナンス体制強化
- 時間外労働上限規制・新しい働き方への対応
- 人材の確保と育成
- CSR活動およびSDGsを含めたESG経営
- DXの推進
- シナジー効果の創出



- 全社的リスクマネジメント体制を整備
- サステナビリティ経営のマテリアリティ・KPIの開示
- 2024年時間外労働上限規制への対応
- 働きやすい職場環境への改善
(工事現場の環境改善/フリーアドレス制度の導入)
- 派遣監督の増員/定修業務の標準化による業務効率向上
- 技術系社員の中長期教育プランを構築
- DXのさらなる推進のためデジタル戦略部を新設

事業環境の変化に対応した当社の取り組み

(1) 閉鎖製油所の将来計画への参画

閉鎖製油所の基盤整備工事（無害化工事/設備撤去工事）の受注および将来計画への参画

製油所閉鎖は、当社の新たなビジネスチャンス

- ①製油所設備の無害化工事・・・装置/配管/タンク内に残存する危険物の除去・清掃
- ②設備撤去工事・・・設備の撤去および更地化
- ③将来計画への参画・・・将来計画に基づいたFS検討～建設工事までの対応・受注へ

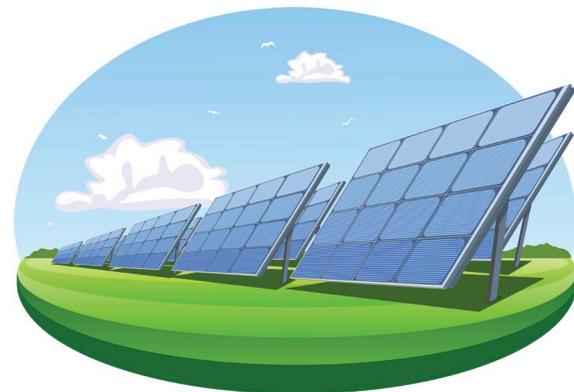


事業環境の変化に対応した当社の取り組み

(2) カーボンニュートラル社会への対応

当社の強みである太陽光発電所に加え、その他カーボンニュートラル案件も積極的な受注を目指す

- 太陽光発電所 → 38案件施工完了（累計約258MW）
2件施工中（合計約30MW）
- 福島県浪江町グリーンアンモニア製造プラントの建設工事受注



(3) 非鉄金属の電子材料案件への対応

顧客との長期の取引関係を生かした非鉄金属分野への積極的な対応

- 新規電子材料工場建設工事の受注
- 各種電子材料のリサイクル設備の建設



全ての人にとって働きがいのある魅力的な職場環境の実現

従業員エンゲージメントの向上による新たな企業文化の醸成

経営と社員の意見交換会
女性社員、若手社員、
事業所訪問等



職場環境の改善

フリーアドレス等の新しい働き方



現場のコンテナ式 快適トイレ



従業員意識調査アンケート結果に基づく 経営改善



事業所建屋の更新



この資料には、2023年5月18日現在の将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

レイズネクスト株式会社
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8
経営企画部 業績・IRグループ
TEL：045-415-1500／FAX：045-415-1120
E-MAIL：ir-info@raiznext.co.jp
URL：https://www.raiznext.co.jp



レイズネクスト株式会社